

日本教師教育学会 第33回研究大会

大会テーマ

学校教育の変革主体としての教師

大会プログラム



会期：2023年9月30日（土）・10月1日（日）

会場：東京大学

主催：日本教師教育学会

共催：東京大学大学院教育学研究科

東京大学教育学研究科附属発達保育実践政策学センター

日本教師教育学会第33回研究大会実行委員長より（ご挨拶）

大会実行委員長 勝野 正章

日本教師教育学会第33回大会を2023年9月30日（土）・10月1日（日）の日程で東京大学を会場に開催させていただくことになりました。

大会テーマは「学校教育の変革主体としての教師」といたしました。AIをはじめとする現代の技術革新に対応し、少子高齢化や気候変動などのグローバルな諸課題を解決する能力を子どもたちに保障する学校教育への変革が唱えられるなか、教師も「主体的」な改革の担い手としての役割が求められるようになっていきます。しかし、ここで言うところの「主体（的）」とは、そもそも何を意味するのか、改革を進める前に一歩立ち止まり、検討してみたいというのが本テーマ設定の理由です。

「主体」を表す英単語として、しばしば使用されるagencyには、活動を始める能力やどのような活動を起こすかを選ぶ能力という意味のほかに、代理店や政府機関という意味もあります。教師が専ら矢継ぎ早に打ち出される施策の効果的な実施を求められるようであれば、変革主体とされるものの実態は多分に他律的・従属的であると言わざるを得ません。一方、この「主体」という考え方には、「よい教師とは」をテーマとする議論や研究、政策においてしばしば見られる、個人の資質・能力へと還元しがちな傾向を相対化する契機が含まれているように思われます。とりわけ、子どもや同僚、保護者、地域の声を聴き、対話と省察を重ねながら実践を進めていく「主体」たる教師という視座は、「チーム学校」や働き方改革といった今日の政策・施策との関わりにおいても重要な意味を持つことでしょう。

公開シンポジウムには、世界的に活躍されており、日本の教育研究にも大きなインパクトを与えているガート・ビースタ（Gert Biesta）教授がオンラインで参加されます。「教師agencyのエコロジカル・アプローチ（an ecological approach to teacher agency）」をテーマとするビースタ教授の講演に続いて、仲田康一会員（法政大学）による指定討論、参加者を交えての議論を行う予定です。この公開シンポジウムを含め、本大会の研究発表・協議の全体を通して、現代学校教育の変革主体としての教師について探究を深めることができると願っております。

学会事務局、（株）EPOCH-NETの皆様にも多大なお力添えをいただきながら、大会実行委員会一同、開催に向けて準備を進めております。第29回大会（岡山大学）以来、4年ぶりの対面開催（一部オンライン）となる本大会に、一人でも多くの会員にご参加いただけますと幸いです。

大会プログラム 目次

大会テーマ	3
日本教師教育学会第33回研究大会要領	4
9月30日(土)大会第1日	12
第1分科会	13
第2分科会	14
第3分科会	15
第4分科会	16
第5分科会	17
第6分科会	18
第7分科会	19
第8分科会	20
第9分科会	21
定期総会	22
情報交換会	22
シンポジウム	23
10月1日(日)大会第2日	24
第10分科会	25
第11分科会	26
第12分科会	27
第13分科会	28
第14分科会	29
第15分科会	30
第16分科会	31
第17分科会	32
第18分科会	33
第19分科会	34
ラウンドテーブル	35
若手研究者育成支援部	37
課題研究Ⅰ	38
課題研究Ⅱ	39
課題研究Ⅲ	40
協賛広告	41

大会テーマ 学校教育の変革主体としての教師

近年、学校教育の変革主体としての教師を表現する言葉として、「教師エージェンシー」が用いられている。その意味は論者によって異なるが、G.ビースタ（Biesta）らが提唱するエコロジカル・アプローチは、教師エージェンシーを個人の能力として捉えるのではなく、個々人の能力と環境条件の相互作用の結果として捉える点に特徴がある。

翻って、教師教育という時、我々は教師の「資質」や「能力」を、あたかも個人の持ち物であるかのように捉え、それを増大させることをイメージしているのではないか。近年における教師教育政策や制度改革も、個々の教師の「資質」や「能力」を育てるという考え方の束縛から逃れられず、協働することさえも協働する「資質」や「能力」のように扱っているように思われる。

「教師エージェンシー」へのエコロジカル・アプローチや「同僚性」「専門家共同体」「専門家の学習共同体」「組織学習」といった理論には、「資質」や「能力」をそのようなものとして捉え、教師の「主体性」を個人へと還元してしまう前提を再考し、その限界を明らかにするための契機が含まれている。エコロジカル・アプローチによれば、子どもや同僚、保護者、地域の声を聴くことと、教師エージェンシーを高めることは相即的な関係にあることになる。こうした観点から、本大会の研究発表・協議の全体を通して、現代学校教育の変革主体としての教師を探究したい。

日本教師教育学会第33回研究大会要領

1. 大会テーマ

「学校教育の変革主体としての教師」

2. 会期

2023年9月30日（土）、10月1日（日）

3. 会場

東京大学大学院教育学研究科（本郷キャンパス：東京都文京区本郷7-3-1）

一部オンライン開催

4. 交通案内

■ 各空港からのアクセス

- 成田空港から
 - 空港第2ビル（成田エクスプレス）～東京（東京メトロ丸ノ内線）～本郷三丁目
 - 空港第2ビル（京成スカイライナー）～日暮里（JR山手線）～上野（バス・徒歩・タクシー）～東京大学
 - 羽田空港から京成成田（京成本線）～青砥（京成押上線）～押上（都営浅草線）～蔵前（都営大江戸線）～本郷三丁目
 - 空港第2ビル（リムジンバス）～T-CAT（水天宮前駅）水天宮前（半蔵門線）～大手町（東京メトロ丸ノ内線）～本郷三丁目
- 羽田空港から
 - 羽田空港第1・第2ビル・国際線ビル（東京モノレール）～浜松町（JR山手線）～東京（東京メトロ丸ノ内線）～本郷三丁目
 - 羽田空港第3ターミナル（京急空港線）～京急蒲田（京急本線）～品川（JR京浜東北線）～東京（東京メトロ丸ノ内線）～本郷三丁目
 - 羽田空港国内線・国際線ターミナル（リムジンバス）～東京（東京メトロ丸ノ内線）～本郷三丁目

■ 電車・バスでお越しになりたい場合

- 最寄り駅からのアクセス
 - 地下鉄「丸ノ内線」と「大江戸線」 本郷三丁目駅 下車 徒歩約10分
 - 地下鉄「千代田線」湯島駅 下車 徒歩約12分
 - 地下鉄「南北線」東大前駅 下車 徒歩約15分
- その他主要駅からのアクセス

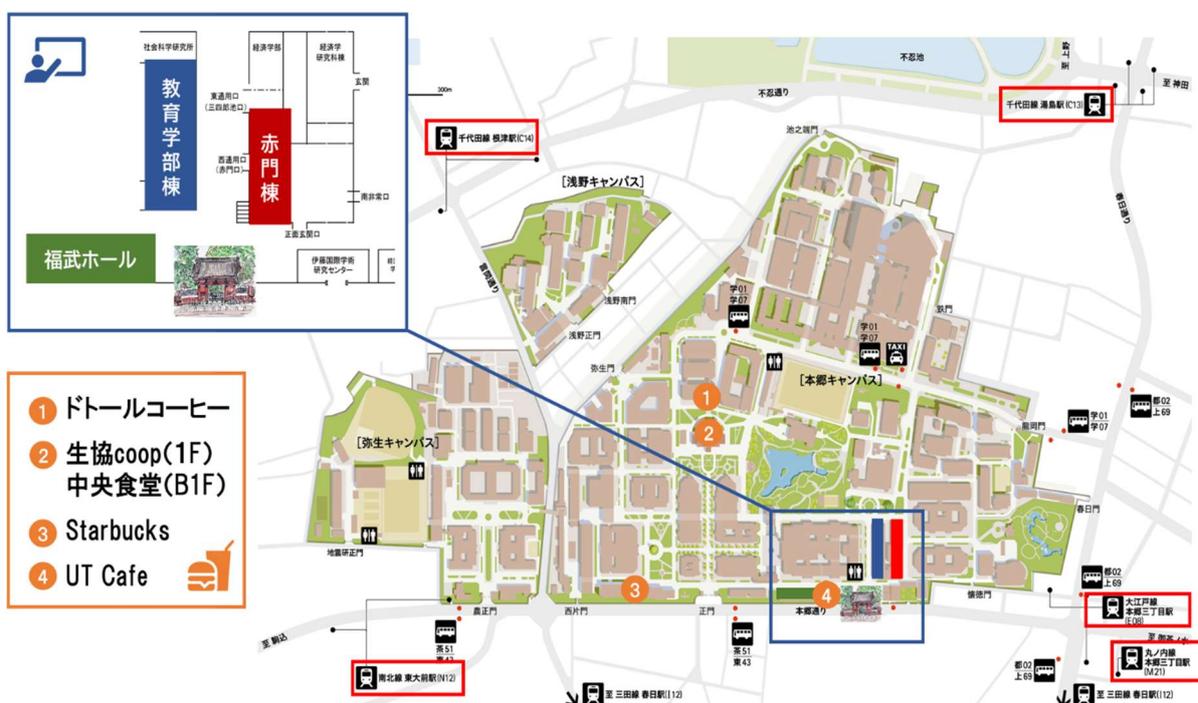
- 御茶ノ水駅（JR中央線、総武線）
 - （徒歩）約20分
 - （地下鉄利用）丸の内線（池袋行）を利用し、本郷三丁目駅下車
 - （都バス利用）茶51系統 駒込駅南口、又は東43系統 荒川土手操車所前行を利用し、東大（赤門前バス停）下車
 - （学バス利用）学07系統 東大構内行を利用し、東大（龍岡門、病院前、構内バス停）下車
- 上野駅（JR山手線等）
 - （徒歩）約25分
 - （学バス利用）学01系統 東大構内行を利用し、東大（龍岡門、病院前、構内バス停）下車

■ 自動車でお越しになりたい場合

自動車の入構方法は、下記サイトにてご案内しています。Web申請が必要です。

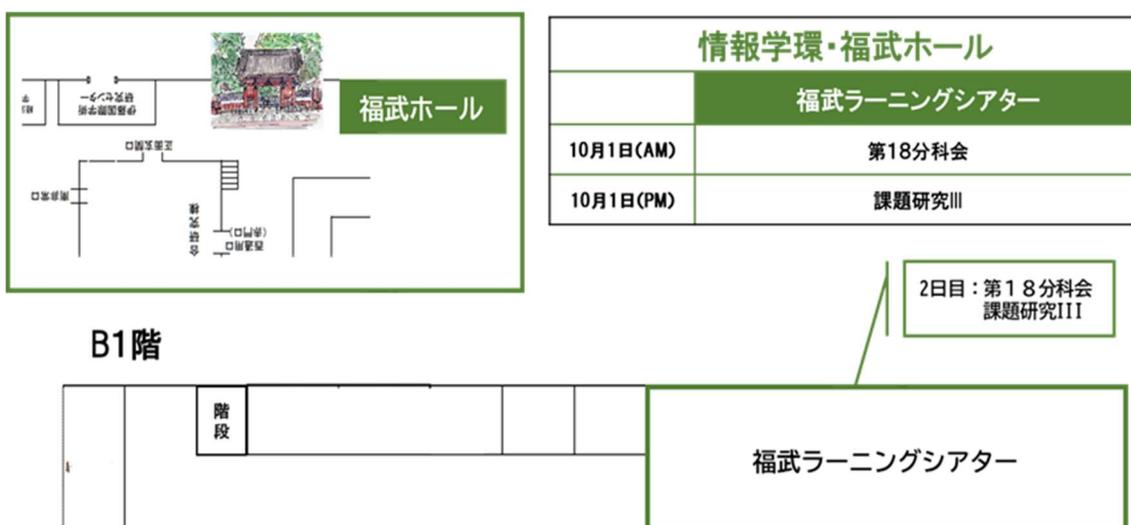
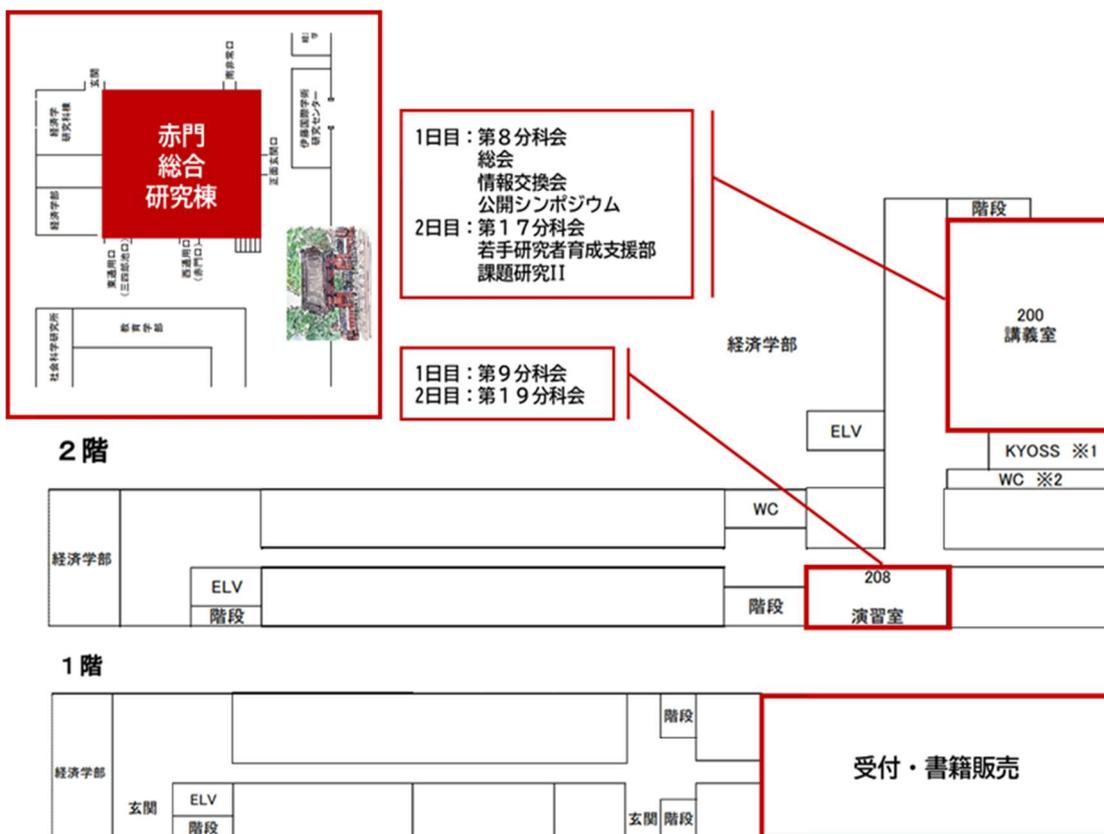
→https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01_02_01.html

5. 大会会場案内図



○会期中の昼食は、大学構内では①ドトールコーヒー（土のみ）②生協coop（土のみ11:00～16:00）、中央食堂（土・日11:00～14:00）、③スターバックス（土日）、④UT Café（土のみ）がご利用頂けます。店舗によっては予告なく営業時間の変更をする場合もあります。その他、大学構外のコンビニエンスストア（赤門から約徒歩1分）や飲食店もご利用ください。

赤門総合研究棟					
	A200		A208	玄関ホール	
9月30日(AM)	分科会8		分科会9	受付	
9月30日(PM)	総会	情報交換会	公開シンポ		書籍販売
10月1日(AM)	分科会17		分科会19		
10月1日(PM)	若手研究者支援部	課題研究II			



6. 日程

1日目 9月30日 (土)	9:30～12:00	昼食	13:00～14:30	14:30～ 15:30	15:45～18:00
	自由研究発表 (対面)		総会 (ハイフレックス)	情報交換会 (対面)	
2日目 10月1日 (日)	9:30～12:00	昼食	13:00～14:30	14:45～17:45	
	自由研究発表 (対面)		ラウンドテーブル (対面) 若手研究者育成支援部 (ハイフレックス)	課題研究 I (録画配信) 課題研究 II・III (ハイフレックス)	

○課題研究Iは9月23日(土)にオンライン開催し、それをオンデマンド配信する予定です。大会当日、配信部屋は設けません。

○公開シンポジウム、若手研究者育成支援部、課題研究II・IIIは、対面とオンラインによる同時配信を行います。オンライン参加者の質問・意見等も受け付ける予定です。

○公開シンポジウム、若手研究者育成支援部、課題研究II・IIIは、参加者専用サイトより一定期間、オンデマンドによる視聴を可能とします。

7. 大会参加方法、参加費

■ 事前参加申込 (8月31日まで申し込めます)

- 【会員(仮会員)の方】こちらから <https://members.jsste.jp/info.php>
(会員情報管理システムからのお申込みになります。会員価格になります。)
- 【非会員の方】こちらから <https://33rd.jsste.jp/attend/application.php>

■ 参加資格

会員は、2023年度会費を8月31日(木)までに完納する必要があります。対面参加の場合は、会員・非会員ともに参加費が必要になりますが、オンライン参加のみの会員は参加費無料になり、申し込みの必要もありません。(公開シンポジウムののみのご参加の方は無料です。)

■ 大会参加費

		正会員参加費	非会員参加費
事前申込の場合	一般	2,000円	3,000円
	学生	1,000円	3,000円
当日支払の場合	一般	3,000円	4,000円
	学生	1,500円	3,000円
オンライン参加 (若手研究者育成支援、課題研究のみ)		無料	3,000円
公開シンポジウム(オンライン)		無料	無料

○公開シンポジウムの申し込み方法はホームページをご確認ください。

○情報交換会は無料でどなたでも参加できます。ただし、食物や飲料の提供なしで行う予定です。

■ 大会参加費事前入金方法

事前申込にて大会参加費を振り込まれる場合は、8月31日（木）までに大会実行委員会の指定口座までお振り込みください。9月1日（金）以降は振込できません。口座番号等は大会 HP をご確認ください。<https://33rd.jsste.jp/registration>

期日までにお振り込みのない場合は、大会当日に「当日支払」の金額を受付にてお支払い頂くことになり、割高となります。

8. 自由研究発表について

- 自由研究発表の口頭発表者が1名の場合は30分（発表20分、質疑10分）、口頭発表者が複数の共同発表は50分（発表35分、質疑15分）です。
- 発表取消があった場合は、以降の発表を繰り上げることはせず、その時間を質疑または休憩の時間に充てることにします。
- 各分科会とも、発表と質疑の終了後、残り時間に応じて（最長で12時まで）全体討議を行います（発表者の少ない分科会は30分～1時間程度）。
- 発表者は、全体討議が終了するまで、分科会の会場に在席してください。やむを得ず事前に退席する際は、事前に司会者にその旨を伝えてください。
- 発表者と司会者は、分科会の開始10分前には発表会場に集合し、簡単な打ち合わせを行ってください。
- 分科会の発表では、次のように計時します。
個人発表及び口頭発表者が1名の共同発表の場合
1 鈴：15分 2 鈴：20分 3 鈴：30分
共同発表の場合
1 鈴：30分 2 鈴：35分 3 鈴：50分

9. 発表に係る機材について

- 全ての会場にプロジェクターとスクリーンを設置しています。「11. 分科会等会場一覧」でご確認ください。
- 各会場とも接続はVGA（アナログ端子 RGB D-Sub15ピン）とHDMIです。ケーブルは各会場に備え付けのものをご利用ください。
- 発表に必要なノートパソコンや、ケーブルとの接続に必要なアダプタ類は各自で持参ください。
- VHSテープによる動画再生には対応していません。
- 分科会開始前に、必ず各自使用される機器との接続のチェックをしてください。
- 学内Wi-fiへの接続はできません。必要な方は各自Wi-fiルータ等を持参ください。

10. 発表資料について

- 自由研究発表の発表資料等は、60部程度を各自でご用意いただき、当日の分科会の

開始 10 分前までに会場のスタッフに提出してください。

- 課題研究，ラウンドテーブル等の発表資料は，各自で必要部数をご用意のうえ，開始時に企画者が配布してください。
- 大会事務局では，発表資料等の追加の印刷はできかねます。また発表資料の事前送付も受け付けておりません。なにとぞご了承ください。

1 1. 分科会等会場一覧

棟	階	室番号	9/30(土)		10/1(日)	
			午前	午後	午前	午後
教育学部棟	1階	109	第1分科会		第10分科会	ラウンドテーブル①
		158	第2分科会		第11分科会	ラウンドテーブル②
		159	第3分科会	公開シンポ (第二会場)	第12分科会	ラウンドテーブル③
	2階	第一会議室	会員控室			
		第二会議室	クローク			
	3階	356	第4分科会		第13分科会	
		357	第5分科会		第14分科会	
		358	第6分科会		第15分科会	
	4階	450A	第7分科会		第16分科会	
	赤門総合研究棟	2階	A200	第8分科会	・総会 ・情報交換会 ・公開シンポ	第17分科会
A208			第9分科会		第19分科会	
福武ホール					第18分科会	課題研究Ⅲ

1 2. 託児について

託児を希望される方は、8月15日までに、以下のフォームからお知らせください。

<https://forms.gle/8PPoq82RiVn9pnRo6>



■ 託児室について

- 託児室の利用は年次大会参加者の同伴するお子様に限ります。
- 日本教師教育学会はシッター派遣会社と契約し、託児室ではこのシッター派遣会社から派遣されたシッターがお子様の世話をします。シッター1名あたりの子どもの数は、全国ベビーシッター協会の自主基準に基づきます。ただし、利用人数が少ない場合にもシッター2名以上を原則とします。

シッター派遣会社：株式会社ポピンズコーポレーション（全国ベビーシッター協

会正会員) <http://www.poppins.co.jp/>

- 託児室は会場内に設けます。託児室には、シッター会社が準備した床マット、おもちゃなど託児に必要な設備を整えますが、臨時の設備ということをご理解ください。
- 託児室の開室日時は、皆様のご要望を踏まえて検討させていただきます。

■ 申し込み

- 託児室ご利用の受け付けは、大会運営側で取りまとめます。また大会運営側とシッター派遣会社で情報を共有いたします。
- 正式な申込書と同意書、利用日のお子様の体調確認書などを後ほどご提出いただくことになる予定です。
- 利用料金、時間帯、支払方法、キャンセル、当日の持ち物などについては後ほど連絡させていただきます。

■ 賠償保険など

- 万が一事故が発生した場合、その損害額はシッター派遣業者が加入するベビーシッター総合保障制度にて填補される限度とすることをご了承ください。(社)全国ベビーシッター協会 ベビーシッター総合補償制度 1事故最高10億円、1人2億円

13. 書籍販売

赤門総合研究棟の玄関ホールで、協賛書店による書籍の展示・販売を行います。

9月30日(土) 大会第1日

1. 自由研究発表(対面)
2. 定期総会(学会員のみ)(ハイフレックス)
3. 情報交換会(対面)
4. 公開シンポジウム(ハイフレックス)

第1分科会

司会：浜田 博文(筑波大学)
柏木 智子(立命館大学)

9:30~10:00

探究型の授業実践に向けた教職準備性(3)

○羽野 ゆつ子(大阪成蹊大学)

10:00~10:30

教員集団内における心理的安全性の醸成要因に関する一考察
—ある公立中学校の学年集団における関係構築の事例分析—

○和田 真季(大阪公立大学大学院)

10:30~11:00

探究学習における小学校教員のICT活用とICT効力感、チームワーク効力感との関連

○米沢 崇(広島大学大学院)

中井 悠加(島根県立大学)

11:00~11:30

学校における教育データ利活用に関する教員の意識

○小柳 和喜雄(関西大学)

11:30~12:00

全体討議

第2分科会

司会：別惣 淳二（兵庫教育大学）

前田 一男（立教大学）

9：30～10:20

教職志望者の就業観に関する研究－教職回避のメンタリティに注目して－

○浅田 瞳（京都文教大学）

○長谷川 誠（神戸松蔭女子学院大学）

原 清治（佛教大学）

10：20～10：50

教員養成における資質・能力の具体化－島根大学教育学部における議論を踏まえて

○深見 俊崇（島根大学）

香川 奈緒美（島根大学）

塩津 英樹（島根大学）

10：50～11：20

北関東地方における養蚕教師養成と農業従事者の学習意識の向上

－高山社蚕業学校・競進社蚕業学校を中心に－

○田中 卓也（育英大学）

11：20～12：00

全体討議

第3分科会

司会：伏木 久始(信州大学)
日暮 トモ子(日本大学)

9:30~10:00

教員を目指す学部学生における素人動機づけ理論
—テキストマイニングを用いた探求的検討—

○林 美都子(北海道教育大学)

10:00~10:30

教職課程学生の「グローバル教育の実践力」に関する意識調査研究

○笠井 正隆(関西外国語大学)
森田 健宏(関西外国語大学)

10:30~11:00

学生の「授業のふりかえり」を中核教材に据えた授業づくりが学生と授業者に与える
影響についての事例的考察—教職課程授業者のセルフスタディとして—

○大村 龍太郎(東京学芸大学)

11:00~11:30

教員養成大学1年生における「教職不安」の実態

○園部 友里恵(三重大学)

11:30~12:00

全体討議

第4分科会

司会：山崎 準二 (学習院大学)

齋藤 智哉 (國學院大学)

9:30~10:00

授業における教師の専門的力とは—心理学研究に基づくモデルの提案—

○佐藤 雄一郎(慶応大学大学院)

10:00~10:30

民間教育研究団体の活動を若手教師はどのように捉えているか
—歴史教育者協議会を事例として—

○小沼 聡恵 (東京大学大学院)

10:30~11:00

教職大学院における臨床心理学的な授業観察法の試み

○西村 佐彩子(京都教育大学)

11:00~11:30

教師のコミットメントについて—教師レジリエンスの視点から—

○高橋 智男 (東北学院大学大学院、宮城県教育
委員会義務教育課)

11:30~12:00

全体討議

第5分科会

司会：子安 潤 (中部大学)
北田 佳子 (埼玉大学)

9:30~10:00

高等学校における教員の個業性に関する研究—専門高校を事例として—

○船越 康平 (京都市立京都工学院高等学校)

10:00~10:30

学校におけるセクシャリティに関わる情報共有の在り方を問い直す—性的マイノリティ当事者教員へのアウトティングをめぐるインタビューの考察を通して—

○小本 翔(埼玉県入間市立狭山小学校)

10:30~11:00

どのような教師が社会的公正を志向しているか—TALIS2018を用いた国際比較—

○栗原 和樹 (東京都立大学)

11:00~11:30

公立高校教育系コースの教員の認識

—教育系コースは大学教職課程の「前倒し」となるのか—

○牧瀬 翔麻(広島修道大学)

大西 圭介 (帝京科学大学)

寝占 真翔 (帝京科学大学)

11:30~12:00

全体討議

9月30日(土) 9:30~12:00

教育学部棟3階 358教室

第6分科会

司会：油布 佐和子（早稲田大学）
矢野 博之（大妻女子大学）

9:30~10:00

教員養成研究における省察諸概念の展開—日本教師教育学会年報の分析より

○三品 陽平（愛知県立芸術大学）

10:00~10:50

教師教育に携わる大学教員の省察をめぐる問い直しとその背景
—大学教員の語りから—

○田中 里佳（三重大学）

○高谷 哲也（鹿児島大学）

○山内 絵美理（東海大学）

10:50~11:20

教育活動を通じた自己理論化メソッドの開発とその考察

○増田 周平（宇治市立木幡小学校）

村上 忠幸（京都教育大学）

11:20~12:00

全体討議

第7分科会

司会：赤星 晋作（広島市立大学）
小野瀬 善行（宇都宮大学）

9：30～10：00

多文化に開かれた教師教育—ドイツの教員養成に焦点を当てて—
○中山 あおい（大阪教育大学）

10：00～10：30

韓国の革新学校政策における教師の役割について
○巖 アルム（元・東京韓国学校）

10：30～11：00

日本型教員養成カリキュラムの国際移転：カンボジア教員養成大学を事例として
○小野 由美子（早稲田大学総合研究機構教師教育研究所）
前田 美子（大阪女学院大学）

11：00～11：30

米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校における社会正義に資する教員養成に関する
一考察
○高野 貴大（茨城大学）

11：30～12：00

全体討議

第8分科会

司会：佐々木 司（山口大学）
岩田 康之（東京学芸大学）

9:30~10:20

校内研修担当者のコンピテンシー・モデル作成の取組

- 北川 剛司（奈良教育大学）
- 前田 康二（奈良教育大学）
- 山内 雅雄（奈良教育大学）
- 小崎 誠二（奈良県教育委員会奈良県立教育研究所）

10:20~10:50

メンターシップ育成講座の開発・実践・評価

- 村上 忠幸（京都教育大学）
- 京都教育大学メンターシッププロジェクト実行委員会

10:50~11:20

教師エージェンシーをはぐくむ教育行政のあり方に関する考察

- 千々布 敏弥（国立教育政策研究所）

11:20~11:50

学校現場に変革のエージェンシーを生み出す相互交渉とは？

－教育長の形成的介入に視点を当てて－

- 後藤郁子（お茶の水女子大学）
- 大熊雅士（小金井市教育委員会）

11:50~12:00

全体討議

第9分科会

司会：内田 千春（東洋大学）
木原 俊行（大阪教育大学）

9:30~10:00

AARサイクルと対話を意識した教職員研修のあり方に関する一考察

○一ノ瀬 里紗（明石市立朝霧小学校）

10:00~10:30

子ども支援をめぐるケース会議において解決策はいかに議論されたか
—会話分析による会議場面における行為連鎖と議論内容の特徴—

○小田 郁予（早稲田大学）

10:30~11:00

教師の仕事の捉えと学びのニーズ

○香川 奈緒美（島根大学）

深見 俊崇（島根大学）

11:00~11:30

生涯学習の観点から捉えた新たな研修制度下における教師の学びの場

○阿曾 奈生（姫路大学）

11:30~12:00

全体討議

9月30日(土) 13:00~14:30/14:30~15:30

赤門総合研究棟2階 A200教室

定期総会

日時： 2023年9月30日(土) 13:00~14:30

9月30日(土)13:00~より定期総会を行います。会場は赤門総合研究棟2階A200教室です。会員の皆様の参加をお願い致します。

情報交換会

日時： 2023年9月30日(土) 総会終了後~

9月30日(土)の総会終了後に、同じ赤門総合研究棟2階A200教室にて、会員相互の情報交換と親睦を深めるための情報交換会を開催します。飲食は行いません。皆様のご参加をお待ちしております。

シンポジウム

学校教育の変革主体としての教師

【趣 旨】

近年、学校教育の変革主体としての教師を表現する言葉として、「教師エージェンシー」が用いられている。その意味は論者によって異なるが、G.ビースタ（Biesta）らが提唱するエコロジカル・アプローチは、教師エージェンシーを個人の能力として捉えるのではなく、個々人の能力と環境条件の相互作用の結果として捉える点に特徴がある。

翻って、教師教育という時、我々は教師の「資質」や「能力」を、あたかも個人の持ち物であるかのように捉え、それを増大させることをイメージしているのではないか。近年における教師教育政策や制度改革も、個々の教師の「資質」や「能力」を育てるという考え方の束縛から逃れられず、協働することさえも協働する「資質」や「能力」のように扱っているように思われる。

「教師エージェンシー」へのエコロジカル・アプローチや「同僚性」「専門家共同体」「専門家の学習共同体」「組織学習」といった理論には、「資質」や「能力」をそのようなものとして捉え、教師の「主体性」を個人へと還元してしまう前提を再考し、その限界を明らかにするための契機が含まれている。エコロジカル・アプローチによれば、子どもや同僚、保護者、地域の声を聴くことと、教師エージェンシーを高めることは相即的な関係にあることになる。こうした観点から、本シンポジウムでは、G.ビースタの教師エージェンシーに関する講演を踏まえ、現代学校教育の変革主体としての教師を探究したい。

【シンポジスト】

ガート・ビースタ（メイヌース大学、エディンバラ大学・会員外）

【指定討論者】

仲田 康一（法政大学）

【コーディネーター】

勝野 正章（東京大学）

10月1日(日)大会第2日

1. 自由研究発表(対面)
2. ラウンドテーブル(対面)
3. 若手研究者育成支援部(ハイフレックス)
 4. 課題研究Ⅰ(録画配信)
 5. 課題研究Ⅱ(ハイフレックス)
 6. 課題研究Ⅲ(ハイフレックス)

第10分科会

司会：金馬 国晴（横浜国立大学）
紅林 信幸（常葉大学）

9:30~10:00

水泳指導の民間委託で問われる公立小学校教員の役割
—働き方改革と教師の専門性・専門職性をめぐって—
○葉狩 宅也（京都府立大学）

10:00~10:30

高等教育の「大衆化」下における教員養成について—オルテガを手がかりに—
○中塚 健一（小田原短期大学）

10:30~11:00

学習指導要領の改訂に応じた私立学校の教員養成・採用の課題
○佐久間 大（秀明大学）
山崎 吉朗（私学教育研究所）

11:00~11:30

インクルーシブ教育学に関する教職課程学生の意識調査
○荒巻 恵子（帝京大学大学院）

11:30~12:00

全体討議

第11分科会

司会：久保 富三夫（和歌山大学名誉教授）

鹿毛 雅治（慶應義塾大学）

9:30~10:00

教員養成教育における〈家庭科教育〉の検討

○佐藤 ゆかり（上越教育大学大学院）

10:00~10:30

KJ法を用いた教職大学院における省察の実践—学びの総括を目指して—

○徳永 俊太（京都教育大学）

10:30~11:00

エジプト日本型学校（EJS）における授業研究のねらいと価値
—教職員の認識調査による—

○Yasmine Mostafa（福井大学）

11:00~11:30

教職志望意識の変化と教育実習中の経験

○櫻田 裕美子（別府大学）

11:30~12:00

全体討議

第12分科会

司会：高井良 健一（東京経済大学）

坂井 俊樹（開智国際大学）

9:30~10:20

児童が人と人との関わりに関して自己調整を働かせるカリキュラム研究

○石橋 昌雄（立正大学）

○大高 幸一郎（東京都小平市立花小金井小学校）

10:20~10:50

教師の職能成長とグローバリゼーションに関する研究（2）

：入職前の学びとリアリティショックを中心に

○岩田 康之（東京学芸大学）

10:50~11:20

若手教員における問題経験の諸相：発達障害をめぐる語りに着目して

○高嶋 江（立教大学）

11:20~11:50

教師の保護者とのかかわりにおける規範—「保護者対応本」の分析を通じて—

○松浦信（神戸大学大学院）

11:50~12:00

全体討議

第13分科会

司会：牛渡 淳（仙台白百合大学）

朝倉 雅史（筑波大学）

9:30~10:00

小学校教師の社会科授業実践に関わる資質・能力の育成

—社会科授業観変容過程に着目して—

○大西 慎也（京都ノートルダム女子大学）

10:00~10:30

国際バカロレアを導入した公立小学校におけるミドルリーダーの経験と職能発達

—コーディネーターのライフヒストリー分析を中心に—

○佐々木 恵美子（サニーサイドインターナショナルスクール）

10:30~11:20

教員免許状取得希望学生への支援を目的とした追跡調査の中間報告③

○藤平 敦（日本大学文理学部）

○篠原 清夫（三育学院大学大学院）

牛渡 淳（仙台白百合大学）

11:20~12:00

全体討議

第14分科会

司会：梅澤 収（静岡大学）
樋口 直宏（筑波大学）

9:30~10:20

非正規教員の同僚性と力量形成に関する国際比較研究

—オーストラリア・オランダ・シンガポール・台湾を対象として—

- 和井田 節子（共栄大学）
- 山田 真紀（椙山女学園大学）
- 菊地原 守（名古屋大学）
- 藤田 英典（東京大学名誉教授）

10:20~10:50

生徒の授業評価から見る教員の資質能力（2）

—教員に求められる資質能力について—

- 山口 隆範（びわこ成蹊スポーツ大学）

10:50~11:20

多様な社会活動を活かした教育実践とネットワーク

—現場発『変革主体としての教師』に必要なこと—

- 竹島 潤（岡山市立操南中学校）

11:20~12:00

全体討議

第15分科会

司会：仲田 康一（法政大学）
黒田 友紀（日本大学）

9:30~10:00

「生徒指導提要」の2022年改訂版と2010年版の章・節変更と「生徒指導」に関する統計的データの検証

○新井 英志（天使大学）

10:00~10:30

小学校における包括的性教育の実践
—知識伝達の性教育から、人権的アプローチに基づく性教育へ—

○塚田 大樹（出雲市立さくら小学校）
武田 健太郎（島根県立益田高等学校）
香川 奈緒美（島根大学）

10:30~11:00

ドイツのシュタイナー教員が持つ個人の認識論の実態

○山本 純慈（東京農業大学）
江里口 愛那（東京大学大学院）

11:00~11:30

多様な家族と子どものニーズに「基づく」校長のリーダーシップ
—地域とともにある学校(小中一貫)の事例分析を中心に—

○小出 禎子（愛知工業大学）

11:30~12:00

全体討議

第16分科会

司会：高旗 浩志（岡山大学）
田中 里佳（三重大学）

9:30~10:00

授業の省察場面における中堅教師の葛藤—教授方略の模索過程に着目して—
○藤 朱里（筑波大学）

10:00~10:30

教職大学院院生の授業観及び学習者観の変容とその要因

○伊藤 博之（兵庫教育大学）
宮田 佳緒里（兵庫教育大学）
別惣 淳二（兵庫教育大学）
山中 一英（兵庫教育大学）
徳島 祐彌（兵庫教育大学）
松田 充（兵庫教育大学）
溝邊 和成（兵庫教育大学）
奥村 好美（京都大学）

10:30~11:00

豊かな省察を促すための統括指導教員の役割
—初任者研修での授業省察を通して—

○大友 正純（秋田県総合教育センター）

11:00~11:30

過疎地域に勤務する中堅教師の大学院進学経験—若手教員支援に着目して—

○備瀬 美香（東京大学大学院）

11:30~12:00

全体討議

10月1日(日) 9:30~12:00

赤門総合研究棟2階 A200教室

第17分科会

司会：高谷 哲也（鹿児島大学）

吉岡 真佐樹（京都府立大学名誉教授）

9:30~10:00

韓国における初等教員養成をめぐる政策動向と実態
—教員に求められる役割と力量の変化に焦点をあてて—

○張 信愛（共愛学園前橋国際大学）

10:00~10:50

米国カリフォルニア州における教員スタンダードに関する研究
—教員スタンダードと教師教育制度の関連から—

○藤本 駿（高松大学）

○藤村 祐子（滋賀大学）

10:50~11:20

フィンランドにおける協働教授の現状と課題

○是永 かな子（高知大学）

11:20~12:00

全体討議

第18分科会

司会：佐久間 亜紀（慶應義塾大学）
小柳 和喜雄（関西大学）

9：30～10：00

教職大学院実務家教員による研究の特徴と課題—学术论文のレビューを通じて—

- 木原 俊行（大阪教育大学大学院）
- 野中 陽一（横浜国立大学）
- 小柳 和喜雄（関西大学）

10：00～10：30

教師教育の「高度化」政策の検証

- 三石 初雄（東京学芸大学）

10：30～11：00

ヴァイマル期の教育アカデミーにおける学外実習の導入背景と教育実習校の選定過程

- 藤井 利紀（岡崎女子短期大学）

11：00～11：30

1950年代後半の日教組教育研究全国集会における教師・知識人関係
—第8次教研（1959年）記念講演をめぐる議論に着目して—

- 太田 拓紀（滋賀大学）

11：30～12：00

全体討議

第19分科会

司会：浅野 信彦（文教大学）

佐藤 仁（福岡大学）

9:30~10:00

現職教員による自主的研修としての「セルフスタディー—物語ること」は何をもたらしたか

○岡村 美由規（広島大学大学院）

10:00~10:30

教師の自主的な研修会における学び合い—教師の語りを通して—

○長谷川 慶子（無所属）

10:30~11:00

学校を超えて学び合う現職教育の組織化に関する研究

○宮橋 小百合（和歌山大学）

廣瀬 真琴（鹿児島大学）

11:00~11:30

「質の高い教師」をめぐる責任の様相と教師のエンパワメント

○百合田 真樹人

（独立行政法人教職員支援機構）

11:30~12:00

全体討議

ラウンドテーブル

①合理的配慮理解を阻むもの～学校の文化・慣習・価値観というバリア～

(於：教育学部棟1階109教室)

◆ 企画者・登壇者

飯野 由里子 (東京大学教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター)

平林 ルミ (東京大学教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター)

日隈 脩一郎 (東京大学大学院教育学研究科・院生)

◆ 概要

2016年4月に施行された障害者差別解消法により、教育委員会や公立学校は合理的配慮の提供を義務づけられてから7年が経過した。しかし、2020年度のヒアリング調査では、学校との建設的対話が不十分な結果、不登校や転校に追いやられている子どもたちも存在することが明らかになった。これを受けて、2021・2022年度に報告者らは学校教員を対象に合理的配慮の理解度を確認するアンケート調査を行った。その結果、研修経験のある教員・管理職、特別支援系の教員が高い理解度を示し、既存研修の有効性が一定程度確認された。他方、「平等とはすべての子どもを同じように扱うことだ」といった学校で当然視されている文化・慣習・価値観が、柔軟な対応をするという合理的配慮の考え方と齟齬をきたす可能性も示唆された。本ラウンドテーブルでは、参加者と調査結果を共有し、学校の文化・慣習・価値観が合理的配慮理解のバリアになっている可能性について多角的に議論したい。

②教師養成と子ども文化—そして遊べる教師がいなくなった⑧—教員や保育士の多忙化による子どもの遊び—

(於：教育学部棟1階158教室)

◆ 企画者・登壇者

田中 卓也 (育英大学)

時田 詠子 (群馬医療福祉大学)

香曾我部 琢 (宮城教育大学)

中塚 健一 (小田原短期大学)

中島 眞吾 (中部大学)

西田 明史 (中村学園大学)

塚越 亜希子 (埼玉純真短期大学)

◆ 概要

本ラウンドテーブルでは、「教師養成と子ども文化—そして遊べる教師がいなくなった—」の「第8弾」の企画になる。このたびは「教員や保育士の多忙化による子どもの遊び」をテーマに据え、幼児教育・学校教育を研究対象とするメンバーでさまざまな専門的見地・視点から報告するものである。「教員・保育者の多忙化」については、すでに知られているところである。長時間労働はいまや社会問題全体であり、教員・保育者に限らない。しかし残業代の支払いや働き方改革が徐々に進行している会社や企業などとは異なり幼稚園、小学校のそれでは、

制度が不十分であって十分に進められているとは言い難い事情にあるのではないだろうか。また日本の保育者・教員のなり手においても、人手不足感が否めない。少ない人数で職務を行うことを余儀なくされている保育・（小学校）教育現場では、業務の多忙さから「遊び」を通した保育、授業をふくめた教育などが十分に行われていないことが露見するようになり、ますます教師と幼児、児童らとのコミュニケーションが図れなくなり、すこしずつ溝がみえはじめ、深刻な問題となっている感がある。

このような喫緊の実態を看過できないと感じている7名の報告者から、ご自身の専門的な見地から多忙化による子どもの遊びの実態や改善策、展望などについて忌憚のない議論を交わしたいと考えている。

③リフレクションを促すことができる教師教育者とは？

（於：教育学部棟1階159教室）

◆ 企画者・登壇者

若木 常佳（福岡教育大学大学院）

藤原 顕（福山市立大学）

宮本 浩治（岡山大学）

村上 忠幸（京都教育大学）

矢野 博之（大妻女子大学）

◆ 概要

教師が成長するためには、リフレクションが必要である。そこで、これまで「学生・院生に対し、自己探究に基づくリフレクションへの志向性をどう育てるか」ということをテーマに追究してきた（科研20K02430）。

しかし、その過程で、教師教育者の重要性を考えるに至った。そこで今回は、【教師教育者として私たちは、リフレクションを学生・院生にどのように促したらいいのか？】ということをご皆さんと一緒に考えたい。その手がかりとして、オランダの教師教育を参考にする。

ラウンドテーブルの進行は、次のように進める。

- ① これまで科研のテーマで実施したことの整理報告（10分程度）
- ② オランダの教師教育について（40分）
- ③ 教師教育者として私たちは、リフレクションを学生・院生にどのように促したらいいのか？ 協議（40分）

若手研究者育成支援部 論文作成支援セミナー

本学会年報への投稿・掲載を目指している会員の皆様を対象に「第5回論文作成支援セミナー」を開催します。今回は鹿児島大学の高谷哲也会員を話題提供者にお迎えし、「よい実践報告が学術的に意味を持つとは？／研究論文と実践論文の二極化のように捉えられている現状をどう考えるか？」について皆様と語り合います。話題提供の後、若手研究者育成支援部のメンバー等と参加者の小グループによる「分野別学習会」を開催する予定です。ハイフレックスで行いますが、対面開催の強みも活かしたワークショップ型の会とします。

対面参加、オンライン参加に関わらず事前申込をお願いします。大会当日は、大会参加費を支払済の方で、飛び込みによる対面参加のみ受け付けます（オンライン参加の場合は9月22日までにお申し込み下さい）。なお、飛び込み参加の場合、当日のグループワークでは必ずしもご希望通りのグループとまらない可能性もあります。この点、あらかじめご了承ください。

【話題提供者】

高谷 哲也（鹿児島大学）

【進行（予定）】

- ①挨拶＋主旨説明：5分
- ②話題提供：20分
- ③話題提供を受けての小グループでの交流：40分
- ④全体協議・質疑：20分
- ⑤閉会挨拶：5分

課題研究Ⅰ 「個人化された学習の時代を超えて」

変容する学校教育を前にして、教師教育はどのような展望を抱くべきか。それを検討するのが本部会である。

この主題に即して、これまで、①「学校教育の変容」を、社会全体の動向の中で把握する②現在進行している教育政策、特に、個別最適化」という大きな転換について、その意義と課題を検討する という課題について問題提起し、議論を重ねてきた。その中で、この「個別最適な学び」が、新たな学びを切り拓くと主張される一方で、個人化の進展とそれがグローバル経済のなかでの人材養成に水路づけられる危険性を示してきた。

本年度は最終年度に当たり、こうした議論を踏まえ、「公教育」の重要な使命が「民主主義」的価値をはぐくむことであることを確認し、教員養成・教師教育でそれをどのように展開していくかについて報告を行う。

その際留意しなければならないことは、社会を席卷し、教育において支配的になりつつある<新自由主義的価値> (=個人の能力を高め、それを人材として供給すること) の中で、教師自身が育ち、生活していることである。したがって、そうした「当たり前」で「所与のもの」となっている意識や価値を、どのように相対化できるかが重要となろう。

学ぶことで人々が競争し、選別され、相互に切り離されて操作可能な人材としてあらわれるのではなく、自分と未来の社会に寄与するような学びを創造できるよう、教師に必要なものは何か。

教師教育を考える時、①教師個人の資質能力に焦点を当ててきたことの問題、②「一人一人を大事にする教育」という名でいつの間にか、排除される特別支援の問題などについても、改めて検討する必要がある。現代社会における能力主義(あるいは業績)の問題、教師の職業集団の問題、教師の専門性・専門職性について問題提起し、「教師教育」の在り方について考える。

【報告者】

報告1：教師の同僚性の意義 鈴木 悠太(東京工業大学)

報告2：個別最適化という排除 小國 喜弘(東京大学)

報告3：「公教育の変容」と教師の専門職性を考える 油布 佐和子(早稲田大学)

【司会】

柏木 智子(立命館大学)

課題研究Ⅱ 大学における教職課程の「グランドデザイン」

【趣 旨】

課題研究2「大学教育と教師教育」では、大学における教員養成のあり方について学際的・総合的な検討を行い、学術的基盤に基づいて日本独自の教員養成モデルを構築し、政策提言を行うことを目的とし、3年間わたる研究活動を展開してきた。

具体的には、教員養成の「制度」と「カリキュラム」という二つの観点から、理論的および実証的アプローチを統合的に推進することを通して、大学における教員養成の理念や実態を明らかにするとともに、そのシステムの再構築に向けて、日本における教員養成の新たな高度化に向けた将来像を「グランドデザイン」として描くことを目的とした。とりわけ、大学における教職課程についての基本的な考え方を確認するとともに、その理念を現実化するためのカリキュラムや制度のあり方について、「多様性」と「共通性」をともに重視しつつ検討を深めてきた。また、その研究プロセスにおいては、有識者へのインタビューやより多くの関係者を対象とする質問紙調査を実施するとともに、学会内外に広く意見を求めることを目的とした公開研究会を複数回にわたって開催することなどによって、研究成果の妥当性について検証を進めてきた。

本研究大会では、われわれの研究の最終成果を「グランドデザイン」として提案するとともに、識者からのコメントをいただきつつ、参加者と活発に協議を行い、大学における教員養成の今後のあり方について、さらに検討を深めていきたい。

なお、課題研究2が母体となって申請した科学研究費基盤研究Bが採択され、2023年度がその最終年度になる。これまでの研究プロセスと成果については下記のHPで公開されているので、参照されたい。<https://projectresearch2.jsste.jp/>

【コーディネーター】

浜田 博文（筑波大学）

【報告者】

鹿毛 雅治（慶應義塾大学）

牛渡 淳（仙台白百合女子大学）

岩田 康之（東京学芸大学）

勝野 正章（東京大学）

【指定討論者】

三石 初雄（東京学芸大学）

課題研究Ⅲ
多様な教職ルートが教師教育に問いかけること：
各国の類型化と日本の位置

【趣 旨】

第10期の課題研究Ⅲ部(国際比較・交流)は、多様な教職ルート(教壇に立つためのルート)に焦点を当てて、国際比較研究を進めています。第31回大会ではアメリカ・ノルウェー・中国・ドイツの多様な教職ルートの実態を議論し、第32回大会ではイギリスとオーストラリアの教員不足対応の実態を事例に、多様な教職ルートの背景の特徴を検討しました。第33回大会では、課題研究Ⅲ部でこれまで議論してきた各国の状況を整理し、多様な教職ルートの意味を考えてみたいと思います。

これまでの研究を通して、教員になるためのルートが複数あるという状況が多くで共通していることが明らかになりました。しかし、多様な教職ルートの構造を見ると、例えば「主流」としての教員養成がありながら、緊急的に必要な場合に備えた仕組みがある場合や、「主流」の教員養成では質的・量的な教員不足に対応できないことから、ある種の「傍系」が確立している場合等、いくつかの類型が確認できます。そこで、各国の多様な教職ルートの構造を類型化することを通して、世界的な動向を整理していきます。他方で、それぞれの国で多様な教職ルートが存在する背景には、単なる量的な教員不足というだけではなく、各国における学校教育や社会環境の変化への対応といった側面もあることが見えてきました。そうした各国の差異性に着目し、世界的な動向の背景にある各国独自のコンテキストも探っていきます。以上の各国の分析結果を踏まえた上で、多様な教職ルートの意味を考えるとともに、日本の教師教育の制度・実態を国際比較の枠組みから定位することを試みます。

【司会】

佐藤 仁(福岡大学)

矢野 博之(大妻女子大学)

【報告者】

小野瀬 善行(宇都宮大学)

北田 佳子(埼玉大学)

佐藤 仁(福岡大学)

張 揚(北海道大学)

辻野 けんま(大阪公立大学)

中田 麗子(信州大学)

原北 祥悟(崇城大学)

「日本の教員養成に貢献したい」

そんな先生の思いを載せた 大学の教科書を作ませんか

1948（昭和23）年に創業した弊社は、大学向け教科書の刊行を開始しました。大学教科書の出版は協同出版の祖業といえます。これまでに教職課程で使用する500点以上の大学教科書を出版してまいりました。大学教科書の出版で実績のある弊社で、先生の授業にご使用する教科書作成をご提案申し上げます。

今までの教科書刊行実績



『新版 教職概論』(2023年)

高妻 紳二郎、植上 一希、佐藤 仁、寺崎 里水、
伊藤 亜希子、藤田 由美子 著

『新・教職課程演習』 全22巻 (2021年)

清水 美恵、小山 正孝 監修

『教職入門 改訂版』(2023年)

菊池龍三郎 編著
石崎ちひろ、伊勢正明、大高 泉、金井 正、小島 睦、
五島 浩一、助川 公継、高橋 資明、山口 豊一 著

『近年の自然災害と学校防災』 I・II・III (2020・2021・2022年)

兵庫教育大学連合大学院・防災教育研究プロジェクトチーム 著

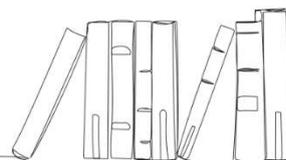
制作仕様の一例

●判型：A4／●装丁：PP 貼りカバー巻、ソフトカバー／●組方向：ヨコ組／●教科書最低採択数：1年間で300部以上をお願いいたします。／●出版形態：紙版と電子版同時発売もできます。／●書店での流通もできます。／●ぜひ共著のご執筆をおすすめします。

弊社の書籍はデジタル技術を活用したオンデマンド方式で印刷しています。必要部数だけをいつでも印刷できるやり方なので、個別の先生方の需要に応える少数部数印刷に適しています。大学の教科書は電子化が進んでいます。弊社はオンデマンド印刷による紙の教科書と電子書籍を併用して、大学教科書の需要に応え、協同出版の祖業を維持してまいります。

詳細については、下記連絡先にお問い合わせください。弊社は協同出版の刊行物として品質を保つために刊行数を制限しています。専門書として、長く残るものですから、手抜きのない編集制作をいたします。

教科書作りに関する疑問・ご質問何でもご相談ください。



お問い合わせ・ご相談は



〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5

協同出版株式会社 管理部
編集企画担当 諏訪内 敬司

E-mail: contact@kyodo-s.jp

TEL 03-3291-0757

FAX 03-3295-2067

ユネスコ・教育を再考する

—グローバル時代の参照軸 定価2,200円

●日本教師教育学会第10期国際研究交流部・
百合田真樹人・矢野博之 編訳著/他訳著

"Rethinking Education"待望の翻訳。ユネスコの教育政策と
実践の基盤議論を読み解く。重要語句や概念群の解説を加え紹介。



スクールティーチャー

—教職の社会的考察 定価4,420円

●ダン・ローティ 著 / 佐藤学 監訳

織田泰幸・黒田友紀・佐藤仁・榎景子・西野倫世 訳

全米、世界での教師教育改革の起爆剤となった名著中の名著。教職
の複雑な現実を卓越した洞察とデータ分析で見事に描き出した。



批判的思考と道徳性を育む教室

—「論争問題」がむらぐ共生への対話

●ネル ノディングス・ローリー ブルックス 著

山辺恵理子 監訳/他訳 定価2,970円

答えの出ない「論争問題」を授業でどう扱い、どう子どもたち
とともに考えていけばよいか。対話が紡ぐ、共生への道。



現代アメリカ教員養成改革に おける社会正義と省察

—教員レジデンシープログラムの展開に学ぶ

●高野貴大 著 定価5,280円

多様化・多層化する現場の課題のなか、多文化社会アメリカの
事例から、社会正義を志向する教師の養成方法について検討。



「令和の日本型」教育と教師

近刊

—新たな教師の学びを考える

●日本教師教育学会 編

予価1,100円

「令和の教師教育改革」に関する2度の学習会と公開シンポジウムの内容を
まとめたブックレット。

教師教育研究ハンドブック <電子版>

●日本教師教育学会 編 定価6,600円

日本教師教育学会の25年間の研究の蓄積と最新の知見をベースに
教師教育の研究と実践と政策に関する概念・用語を包括的に提示。

※ご購入方法等、詳しくは右記QRコードもしくは弊社WEBサイト(下記アドレス)
(https://www.gakubunsha.com/)から「教師教育研究ハンドブック」を検索



未来の教育を創る教職教養指針シリーズ <全11巻>

山崎準二・高野和子 編集代表 現代日本の教師研究を基礎にすえた高度な専門職を
めざす現職教師および教師志望学生のためのテキスト

- ① **教育原論** ●山崎準二 編著 定価2,200円
現代の教育の諸問題とその克服のために立ち返るべき教育の原理原則を考察。
- ② **教職原論** ●高野和子 編著 定価2,200円
近代学校教育制度における「教員」を学ぶことを通じて広く教育に関する職業を考える。
- ③ **発達と学習** ●鹿毛雅治 編著 定価2,200円
「発達」と「学習」の心理学的なあり方について教師に必要な理論と実践を解き明かす。
- ④ **教育と社会** ●油布佐和子 編著 定価2,200円
様々な領域の実態と課題から教育学校の実態をマクロな視点で捉え「教育と社会」を検討。
- ⑤ **教育の法制度と経営** ●勝野正章 編著 定価2,200円
教育行政及び経営の責務、平等を実現する教育と教育法制を基礎基本から考える。
- ⑥ **カリキュラム・マネジメントと教育課程**
●金馬国晴 編著 定価2,200円
子ども・教員・学校・教育行政等の側面から教育課程の概念や編成の方法等を捉え論考。
- ⑦ **教科と総合の教育方法・技術**
●子安潤 編著 定価2,200円
新教科課程を踏まえつつ、教育方法を目的取り組み合わせ機能(効果)の3つの側面から検討。
- ⑧ **道徳教育** ●下司晶 編著 定価2,420円
教育現場で実践検証される道徳教育の方法を探究。「実践と理論」との統合へ挑戦。
- ⑨ **特別活動** ●矢野博之 編著 定価2,200円
「特別活動」は何を成しなせられてきたのか、何が求められているのかを問い直す。
- ⑩ **生徒指導** ●庄井良信 編著 定価2,310円
教育哲学・心理学の理論的解明、エピソード記録を軸に臨床教育学的アプローチを紹介。
- ⑪ **教育相談** ●武田信子 編著 定価2,200円
教育相談を教員だからこそできる相談業務と考え、教員全員が関与する考え方を提案。

「大学における教員養成」の日本的構造

—「教育学部」をめぐる布置関係の展開

●岩田康之 著

定価3,410円

教員養成に関わる諸アクターの力関係=「布置関係」に着目し、主に
歴史的な視覚と国際比較的な視覚の双方から分析。

国際バカロレア教育と教員養成

—未来をつくる教師教育 定価2,530円

●東京学芸大学国際バカロレア教育研究会 編

赤羽寿夫・佐々木幸寿・原健二・藤野智子 編著

IB教育実践の取り組みを紹介。研究者の視点からIB教育を分析し、
次世代教育へのヒントや、国際バカロレア教育を多角的に紹介。

教育実習の日本的構造

—東アジア諸地域との比較から 定価3,520円

●岩田康之 編

金繁雅・早坂めぐみ・大和真希子・山口晶子 著

日本の実習生たちや実習指導にあたる教員たちの抱えている課題を、
東アジア諸地域との比較を基に構造的に解明した一冊。

J.ロックランに学ぶ教師教育と セルフスタディ —教師を教育する人のために

●ジョン ロックラン 監修/原著 定価3,850円

武田信子 監修/解説 小田節子 編集代表 齋藤真宏・佐々木弘記 編

教師教育をリードしてきたジョン・ロックランの主要著作を要約解説。
日本の教師教育者の専門性開発に向けて。

やさしく学ぶ教職課程 シリーズ

高い専門性を発揮しつつも
初学者でも「やさしく」学べる!!

教育の方法・技術とICT ●古賀毅・高橋優 編著 定価2,310円

教育方法に関する基礎的な知識・技術と、ICT活用能力の獲得を目的としてまとめられた1冊。

幼児と児童のための教育とICT活用

●末松加奈 編著 定価1,980円

保育所・幼稚園認定こども園、小学校、特別支援教育…各現場のICT活用方法を紹介する。

教育相談

●角南なおみ 編著 定価2,530円

「どのように子どもを理解するのか」豊富な事例から教師が行う「教育相談」を包括的に学ぶ。

教師論 第二版

●中嶋みさき・中井睦美 編著 定価2,310円

教職の意義、教員の役割、職務内容を学ぶ。現代的な教育課題を積極的に取り入れたテキスト。

特別支援教育

●是永かな子・尾高進 編著 定価2,530円

障害をとらえる枠組み、特別支援教育の歴史と現状、特別ニーズ教育の視点等を説明する。

教育心理学

●児玉佳一 編著 定価2,530円

教育心理学(発達と学習)の基礎的・基本的内容を伸ばさず、読みやすさを追求したテキスト。

教育原理

●古賀毅 編著 定価2,310円

教育の理念・歴史・思想の学びをコアとしながら教育の全体像を示す。教師をめざす第1歩。

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
TEL 03-3715-1501 FAX 03-3715-2012

Email eigyo@gakubunsha.com
URL https://www.gakubunsha.com/

株式会社
学文社



<p>教育グローバル化のダイナミズム なぜ教育は国境を越えるのか</p>	<p>教育グローバル化のダイナミズム—なぜ教育は国境を越えるのか ジョエル・スプリング著 A5・上製・360頁・3960円 監訳 北村友人 訳者代表 山田雄司・鈴木耕平</p> <p>地球世界は、経済の国際化により1つにつながって久しい。今日の物流の世界化がインターネットによってより加速させられる中、国際企業と国際機関から教育の企業化が進められ、グローバルに通用する人間のスキルが求められた。OECDはじめ国際組織の教育戦略の実態を追うとともに様々な教育問題を包括的に考える優れた時宜を得た書。</p>		
<p>アメリカ高等教育史 The History of American Higher Education: Learning and Culture from the Founding to the Present</p>	<p>アメリカ高等教育史 R・L・ガイガー著 原圭寛他訳 A5・744頁・9460円</p> <p>17世紀のカレッジ創設から米国高等教育は始まり、宗教教育から科学技術の発展、世界大戦期と様々な改革を遂げてきた。その400年の複雑な歴史を創設期から丁寧に綴った待望の訳書！</p>	<p>完全性概念の基底 ヨーロッパの教育概念史 田中智志著 A5・562頁・6380円</p> <p>人間が生きていく上で欠かせないのは、生の満喫だ。他者と共生し、分かち合う古来からの生だ。本書は人間が求める「完全性概念」の深淵を探りヨーロッパ近代思想に至り丁寧に辿った3部作の1つ。</p>	<p>完全性概念の基底 ヨーロッパの教育概念史 田中智志著</p>
<p>イギリスの自由教育論争 教養をめぐる科学と文学の相克</p>	<p>イギリスの自由教育論争 教養をめぐる科学と文学の相克 本宮裕示郎著 A5・224頁・3740円</p> <p>科学教育を重視したハクスリーと文学教育を重視したアーノルドの二人の教養概念及びカリキュラム論争を紐解き、教養教育のあり方から日本への貴重な示唆を与える。</p>	<p>カンボジア「クルー・チャットン」の時代 千田沙也加著 A5・272頁・4950円</p> <p>ボル・ポト政権の崩壊後に教育を担った教員資格を持たない教師「クルー・チャットン」が経験した「生きられた歴史」を明らかにし、懸命に培った創造性豊かな教育実践の熱情が伝わる力作。</p>	<p>カンボジア「クルー・チャットン」の時代 千田沙也加著</p>
<p>「学習成果」可視化と達成度評価 その現状・課題・提言</p>	<p>「学習成果」可視化と達成度評価 早田幸政編著 大学基準協会監修 A5・424頁・4180円</p> <p>大学での学びが多様化している今、学習成果をどのように評価し、可視化できるか。「達成度評価」のあり方に関する調査研究を分析し、内部質保証システムの有効性とグローバルに通用する多様な人材育成のための具体的な提言書。</p>	<p>オープン・エデュケーションの本流 橋高佳恵著 A5・240頁・4730円</p> <p>一九六〇年代から九〇年代の米国で展開されたオープン・エデュケーション。その本流を創出した五名の進歩主義教育者と彼らが創設した「ノースダコタ評価研究グループ」の実践を検証する。</p>	<p>オープン・エデュケーションの本流 橋高佳恵著</p>
<p>武藤浩子著 A5・二二四頁・三二二〇円</p> <p>企業が求める「主体性」とは何か</p>	<p>久保園梓著 A5・二四〇頁・四七三〇円</p> <p>米国の特殊教育における教師教育の再検討</p>	<p>志茂こづえ著 A5・312頁・4730円</p> <p>米国の特殊教育における教職の専門職性理念の成立過程</p>	<p>教師教育におけるスタンダード政策の再検討 牛渡淳・牛渡亮著</p>
<p>松本麻人著 A5・二四〇頁・三九六〇円</p> <p>人生100年時代に「学び直し」を問う</p>	<p>石崎和宏・王文純著 A5・二九六頁・四七三〇円</p> <p>美術鑑賞学習における思考の可視化と深化</p>	<p>志茂こづえ著 A5・312頁・4730円</p> <p>米国の特殊教育における教職の専門職性理念の成立過程</p>	<p>米国の特殊教育における教職の専門職性理念の成立過程 志茂こづえ著</p>

東信堂 直販注文 お問い合わせ

アマゾン

楽天 フォックス

honto

東信堂

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
HP <http://www.toshindo-pub.com>
☎ 03-3818-5521 ☎ 03-3818-5514
✉ toshindo_onlineorder1985@gmail.com
✉ tk203444@fsinet.or.jp (代表)

* 博論書籍化、教科書等の出版相談は代表メールまで！

協賛広告

「文部科学省」編著の書籍



■ 生徒指導提要 令和4年12月改訂〈コンパクト版・関連法令付録〉

最新刊

A5判／336頁／定価935円（本体850円＋税）／ISBN978-4-86371-653-7

生徒指導に関する学校、教職員に向けた文部科学省による基本的指導書「生徒指導提要」が、社会情勢の変化や今日的課題を踏まえ12年振りに大幅改定された。「いじめ防止対策推進法」「自殺対策基本法」「教育機会確保法」等、生徒指導を進める上で欠くことのできない主要法令も付録。研修、会議等に携行しやすいコンパクトサイズ（A5判）で、生徒指導担当教員をはじめ全教員が必携の1冊。



■ 特別支援教育における交流及び共同学習の推進 ～学校経営の視点から～

最新刊

全国特別支援教育推進連盟 編集／A4判／256頁／定価2,420円（本体2,200円＋税）／ISBN978-4-86371-651-3

全国特別支援教育推進連盟が文部科学省から委託を受けた調査研究報告書に、あらたに加筆、書籍化した。交流及び共同学習の意義や今後の在り方を検討するほか、実践校の校長からの「提言」を掲載。また、教育委員会を対象としたアンケートから、障害のある子供の居住地校交流の実態を明らかにする。先進的な取組を行っている21校の実践も紹介。



■ 学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン

＋学校安全推進のための教職員向け研修・訓練実践事例集

A4判／カラー262頁／定価1,980円（本体1,800円＋税）／ISBN978-4-86371-611-7

自然災害や火災、突発的な事件、事故などから児童生徒の生命を守り、安全を確保するために、学校の「危機管理マニュアル」は常に見直しと改善、そして実践的な研修や訓練が求められる。そのための指針として文部科学省が令和3年に発表したガイドラインと実践事例集を一冊にまとめて書籍化。



■ 障害のある子供の教育支援の手引 ～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～

A4判／480頁／定価1,980円（本体1,800円＋税）／ISBN978-4-86371-613-1

文部科学省が令和3年6月に発表した「障害のある子供の教育支援の手引」と「小学校等における医療的ケア実施支援資料」をまとめて書籍化。障害種ごとに「教育的ニーズ」を詳細に記し、就学相談などで必要な判断・支援を行うときの基本的な考え方を示す。さらに、医療的ケア児の受け入れにあたって理解しておくべきことも網羅。



ジアース
教育新社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第2ビル
TEL 03-5282-7183 / FAX 03-5282-7892
E-mail info@kyoikushinsha.co.jp URL https://www.kyoikushinsha.co.jp/



「#教師のバトン」でも問題になっている教師の労働環境。
元教員の14人が赤裸々に体験を語る

教師をやめる

14人の語りから見える学校のリアル



前屋 毅 著

- 四六判・224ページ
- 定価1,980円（税込）
- ISBN978-4-7619-2720-2

——主な内容——

1. 悪いのは私だけ？
 2. 「やったもん負け」の学校文化に疲れ果て……
 3. 非正規教員は格下なのでしょうか
 4. 自分の子どものクラスの担任に嫌な思いはさせられない
 5. 学校は外からみるほど単純なものではない
- など（全14）

公立小中高、特別支援学校全体の5.8%が教員不足、
教員採用試験の倍率が2.6倍と過去最低を更新続ける中、
大学は、学校現場は今、
教師をどう育てればいいのか——。

教師の育て方

大学の教師教育×学校の教師教育



武田 信子・多賀 一郎 著

- 四六判・136ページ
- 定価1,980円（税込）
- ISBN978-4-7619-2855-1

——主な内容——

- 第1章 教師教育は「誰が」担うのか
 - 第2章 教師教育は「何を」すべきなのか
 - 第3章 これからの教師モデルとは
 - 第4章 教師教育者の専門性開発
 - 第5章 教員養成が危機的な状況にある
- 終章 子どもたちの変化から
これからの教師教育を考える

詳しくは、こちらをクリックして「学事出版」ホームページをご覧ください。

学事出版

千代田区神田神保町1-2-5 和栗ハトヤビル3F TEL03-3518-9016 FAX 03-3518-655-514

北大路書房

〒603-8303
京都市北区紫野十二坊町12-8
☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393
<https://www.kitahoji.com> (価格税込)

ワーキングメモリと発達障害(原著第2版)

—教師のための実践ガイド— T. P. アロウェイ, R. アロウェイ著 湯澤正通, 湯澤美紀監訳 四六・296頁・定価2750円 学習の基礎となる認知的スキル、ワーキングメモリ、読字障害、算数障害、発達性協調運動症、注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症、不安症群……障害ごとに支援方法を提案する。

障害から始まるイノベーション

—ニーズをシーズにとらえ直す障害学入門— 田中真理, 横田晋務編著 A5・208頁・定価2970円 障害を社会モデルから捉え直し、アクセシビリティを高める支援技術を解説する。さらには福祉社会学や工学、人類学など様々な専門分野からみたユニバーサルデザインの研究知見を紹介。イノベーション創出のヒントを提供。

国際バカロレア教育に学ぶ授業改善

—資質・能力を育む学習指導案のつくり方— 御手洗明佳, 赤塚祐哉, 井上志音編著 A5・192頁・定価2640円 概念型学習理論や逆向き設計論、ルーブリック評価等、国際バカロレア教育で採り入れられている教育理論を日々の授業で活用することを提案。「問い」により駆動される授業づくりへと誘う。

エピソードで学ぶ統計リテラシー

—高校から大学、社会へとつながるデータサイエンス入門— 山田剛史, 金森保智編著 A5・216頁・定価2310円 朝食を食べないと学力は低下するのか? ガチャでレアキャラが当たる確率は? 身近なエピソードや問いから統計に関する基本的な知識・スキルを学び、数学的センスを養う。

学習科学ハンドブック 第二版 第1・2・3巻

R. K. ソーヤー編/森 敏定, 秋田憲代共他監訳 定価3850円→定価4180円

研修設計マニュアル

鈴木克明著 定価2970円

ようこそ、一人ひとりをいかに教室へ

C. A. トムリンソン著/山崎敬人他訳 定価2640円

メタ認知

三宮真智子編著 定価3300円

教材設計マニュアル

鈴木克明著 定価2420円

一人ひとりをいかに評価

C. A. トムリンソン他著/山元隆春他訳 定価2420円

21世紀型スキル

P. グリフィン他編/三宅なほみ監訳/田川弘如他編訳 定価2970円

学習設計マニュアル

鈴木克明, 美馬のゆり編著 定価2420円

初めての教育論文

野田敏孝著 定価1650円

教育観の転換—よき仕事人を育てる—

三好信浩著 2750円

岡倉由三郎と近代日本

平田論治著 12100円

ドイツの学力調査と授業のクオリティマネジメント

原田信之著 2750円

現代韓国における歴史教育の立論と構想

梁豪煥著/福田喜彦・井上奈穂・金聖玟訳 4950円

日本学術振興会の設立に関する研究

山中千尋著 11000円

地方学力テストの歴史—47都道府県の戦後史—

北野秋男著 7700円

幼児教育と小学校教育における言葉の指導の接続

吉永安里著 6050円

特別支援学校におけるICFの活用に関する研究

清水 浩著 8800円

理科教育における教授学習ストラテジー研究

アナロジーに基づく 内ノ倉真吾著 9900円

近現代日本教員史研究

船寄俊雄・近現代日本教員史研究会編著 4950円

レリバンスを構築する歴史授業の論理と実践

二井正浩編著 2750円

書くことの指導における相手意識の研究

森田香緒里著 8800円

歴史教師のビリーフに関する国際比較研究

宇都宮明子・原田信之編著 2750円

低学年児童の情動に対する教師の支援

芦田祐佳著 7700円

戦前の東京市の初等教育と「特別な教育的配慮・対応」の研究

石井智也著 8250円

濃尾震災(1891年)における子ども救済と特別教育史研究

能田 昂著 7700円

日本数学教育史研究 上・下巻

上垣 渉著 各巻22000円

青年期の対人関係における居場所感に関する研究

益川優子著 6600円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風間書房

(URL) <https://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp (価格税込)

vosaic™ “指導力を可視化する”

教師と生徒の成長を支援する 教育用映像分析アプリケーション

教育用映像分析アプリ「Vosaic（ヴォザイク）」は、授業分析、教員やコーチの指導力分析、コミュニケーション分析等のために開発されました。

特別な機材や煩雑な操作を必要とせず、授業や模擬授業の中の重要なポイントを、映像で即座にフィードバックできます。教員養成課程の学生の教育、現職教師のスキルアップや研修授業の振り返りなどに幅広く活用できます。



■ 小学校の研究授業での授業診断・振り返りの実践例（画像を一部加工・差替え）

当該校の授業方針に基づいた診断項目を登録し、授業映像を撮影しながら診断項目をタップして、記録していきます。授業後、即座に映像と数値でフィードバックを行いました。



■ 授業診断による支援サービスも展開

映像分析を活用した授業の健康診断「授業診断」によって現場の研修をサポートするサービスを展開しています。各校に合わせた診断項目を使用して質・量の両面から「授業力」を可視化し、向上への道筋を共に考えます。

協力：RTF教育ラボ

■ 教員養成科目での導入実績

鹿屋体育大学、筑波大学、日本体育大学、順天堂大学、大阪体育大学など

パフォーマンス分析テクノロジーの活用を通じてスポーツと教育に貢献

橘 図書教材（代表：橘肇）

〒216-0005 川崎市宮前区土橋1-17-1-101
TEL 090-4273-5179

パフォーマンス分析の情報は

<https://tachibanahajime.com>

Vosaic（ヴォザイク）の情報は

<https://www.vosaic.jp>

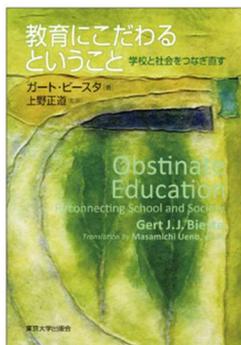
最新刊

ガート・ビースタ 著

上野正道 監訳

教育にこだわる ということ

学校と社会をつなぎ直す



「社会のニーズに応えることは大切である。しかし社会が学校に過度に従順を求めるとき、教育（学）の側に頑固にこだわることで抵抗することも必要である」（訳者解説より）。かけがえのない存在が、他者とともに、世界へとあらわれる回路への「こだわり」、その意味と根拠を注目の思想家が示す。

A5判・横組・上製・256頁／4,950円
ISBN 978-4-13-051361-6

既刊

ガート・ビースタ 著／田中智志・小玉重夫 監訳

学習を超えて

人間的未来へのデモクラティックな教育

2021年刊 4,180円
978-4-13-051359-3

ガート・ビースタ 著／田中智志・小玉重夫 監訳

教育の美しい危うさ

2021年刊 4,620円
978-4-13-051358-6

ガート・ビースタ 著／上野正道 監訳

教えることの再発見

2018年刊 4,180円
978-4-13-051340-1

東京大学出版会

<https://www.utp.or.jp/> 〈価格税込〉



日本教師教育学会第33回研究大会

プログラム

[発行者] 日本教師教育学会第33回研究大会実行委員会

委員長 勝野 正章 (東京大学)

事務局長 浅井 幸子 (東京大学)

実行委員 (五十音順)

有井優太、有間梨絵、小田郁予、影山奈々美、小沼聡恵、李愛慶

[発行日] 2023年8月9日

[連絡先 大会実行委員会]

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学教育学研究科

日本教師教育学会第33回大会実行委員会事務局

E-mail jsste33@gmail.com

[連絡先 学会事務局]

〒344-0061 埼玉県春日部市粕壁3-10-1-1705

日本教師教育学会事務局

Tel 070-6441-0943

E-mail office@jsste.jp